

# ImPACT実現の意義

平成25年11月27日  
内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当)  
山本 一太

# 最先端研究開発支援プログラム(FIRST)の大きな成果

世界のトップレベルの先端的な研究開発から生まれた成果

## ①山中伸弥：京都大学



**iPS細胞を用いた世界初の臨床研究がH25.8.1より開始**  
(理研・目の難病患者の網膜再生)



2012年ノーベル医学・生理学賞受賞

## ②細野秀雄：東京工業大学



**従来の常識では不可能と思われた鉄系超電導物質を発見**  
**百年来の製法を変えうる新しいアンモニア合成法を発見**

## ③安達千波矢：九州大学



**従来の有機EL発光材料の弱点を克服した、新しい原理による**  
**レアメタルフリー・高効率の発光材料を世界で初めて実現**

### 30課題 の成果

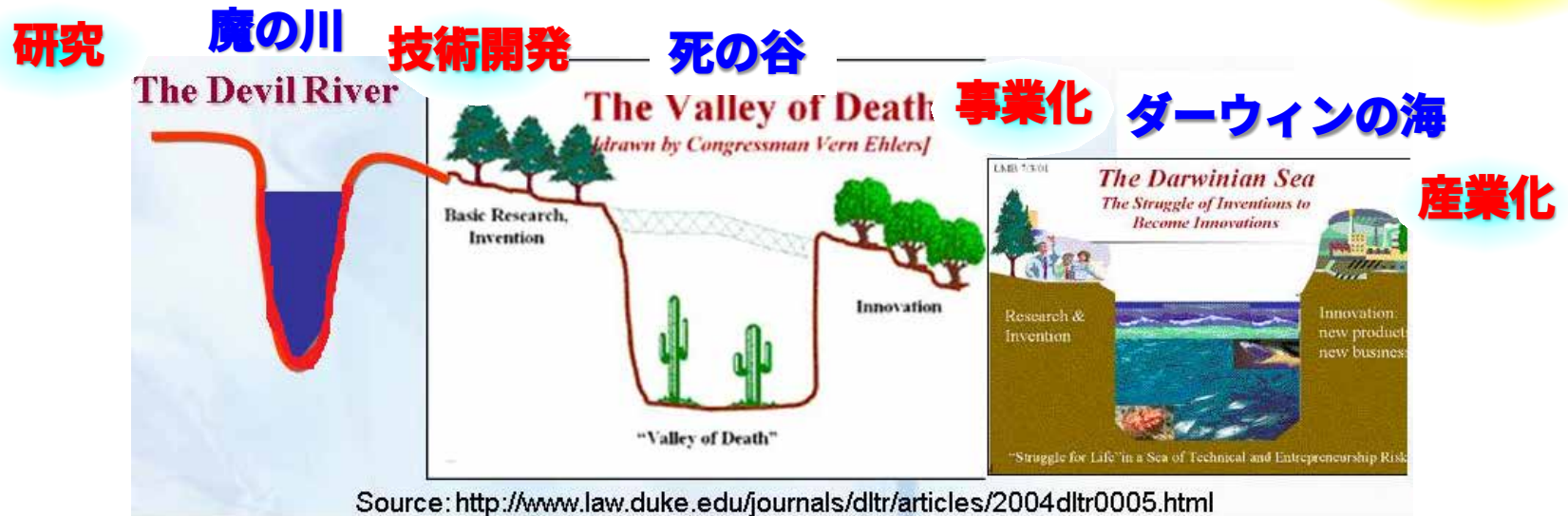
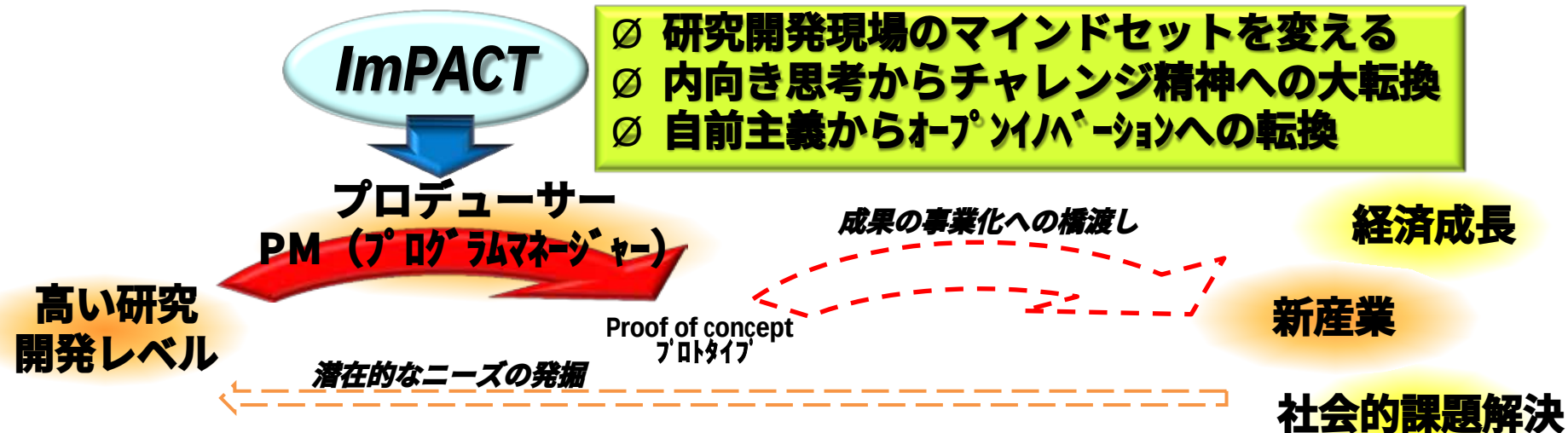
- ・特許出願総件数：1255件
- ・論文総数：3229件（Nature:79件、Science:11件）
- ・ベンチャー起業総数：5件
- ・参加民間企業総数：のべ113社（H25.3.31現在）
- ・参加研究者数：1034名（H24.11現在）

### 優れた制度の特徴

- ・研究者最優先
- ・研究費の基金化
- ・研究支援担当機関の設置

# 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) の意義

(Impulsing **P**Aradigm **C**hange through disruptive **T**echnologies)



ImPACTは、我が国の高いレベルの研究力を、魔の川・死の谷を超え、新しい産業に結び付けるために必要な試み。

# 今なぜImPACTか (期待される効果と狙い)

**背景**

- 激しい国際競争に打ち勝つための非連続なイノベーションの実現
- 我が国が直面する深刻な社会経済的課題の克服



我が国の将来の産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的な科学技術イノベーションの創出のためには、**ハイリスク・ハイインパクト研究に挑戦することが必要**



**研究開発のデザイン力・マネジメント力と、我が国のトップレベルの研究開発力とを結集 (プログラムマネージャー(PM)制度)**



**「イノベーションに最も適した国」を創り上げる**

# 起業・創業の精神に満ち溢れた国へ ～ImPACTの力～

我が国の優秀な研究者を  
PMの下に集め、力を発揮

